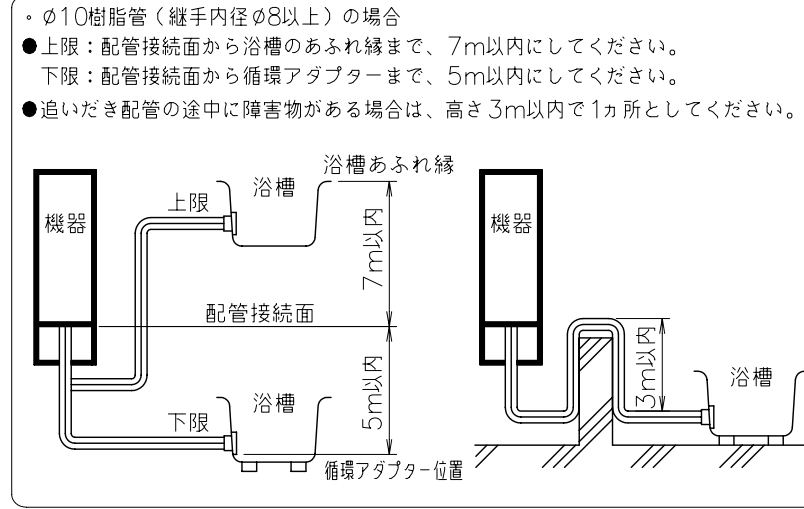


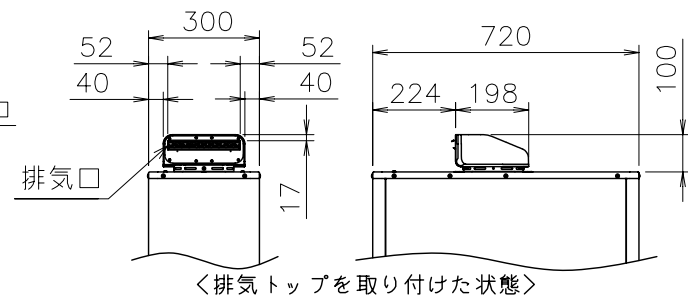
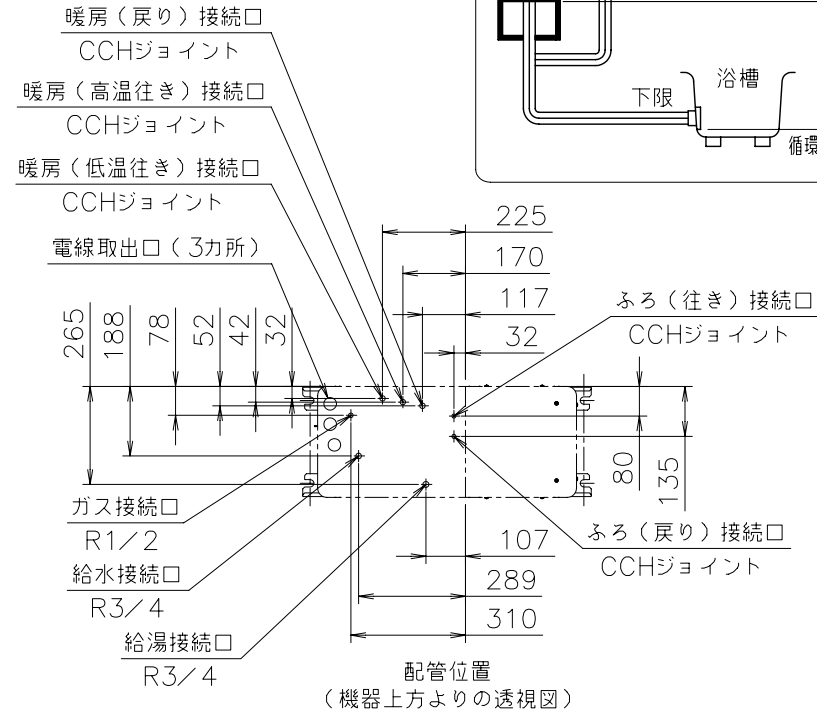
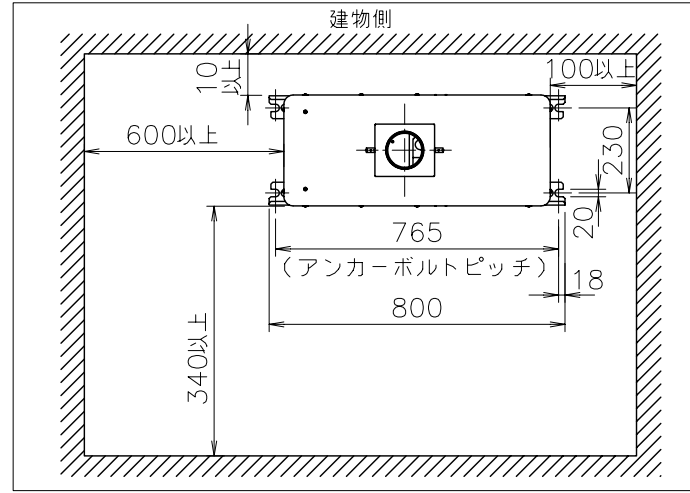
■底板（側板）よりの各継手高さ（mm）

集熱（行き、戻り）	44
ホッパ（接続口中心）	25
暖房（戻り）	44
暖房（高温行き）	44
暖房（低温行き）	44
ふろ（行き、戻り）	42
給湯	51
給水	58
ガス	56

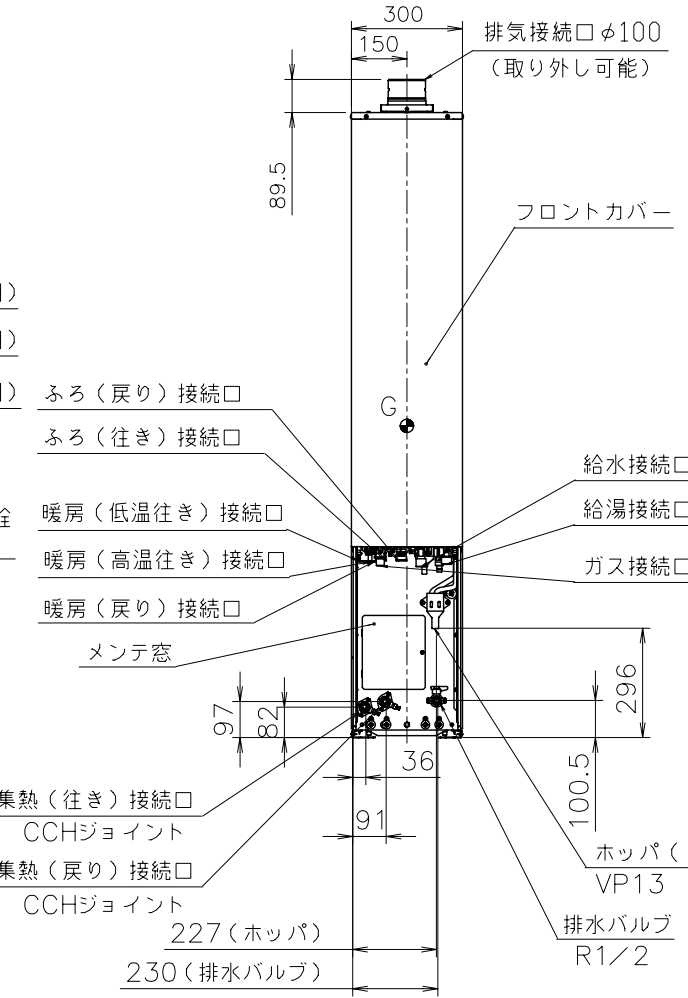
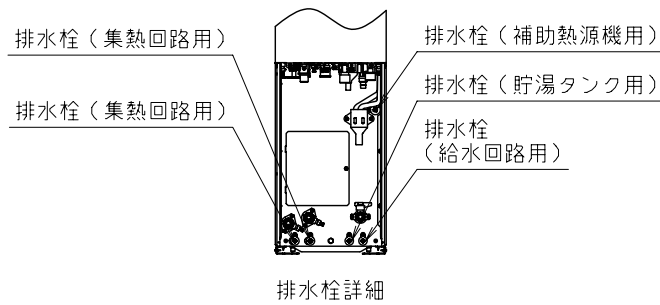
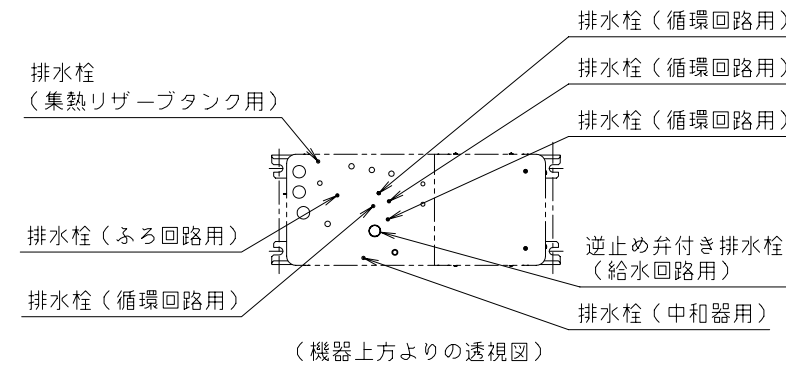
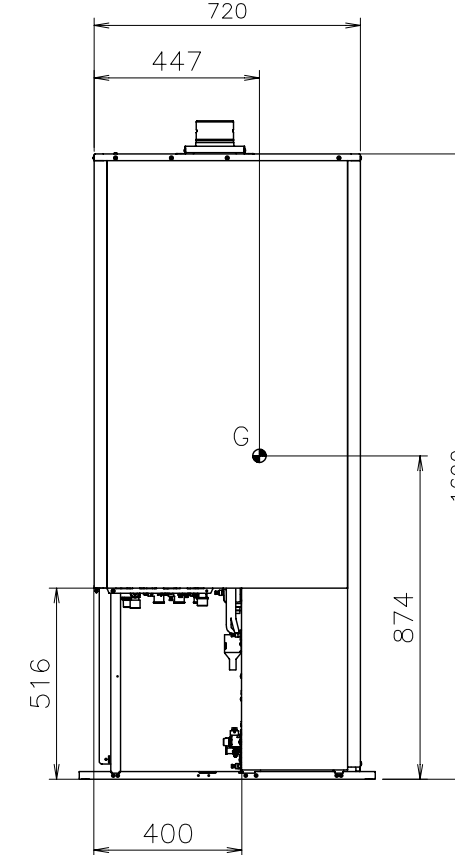
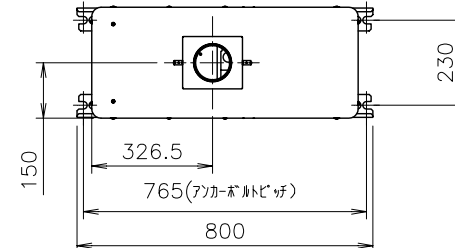
■追いだし配管工事＜最大延長は、片道15mです。但し、設定変更（※）すると、片道25m（出状状態では15m）まで可能です。＞



■アンカーボルトピッチ及びメンテナンススペース参考図



＜排気トップを取り付けた状態＞



G:重心位置（満水時）

■仕様表

項目	仕様
製品名	TFT-C14DRS-AWC
型式	SS-GTHC2410AD-1
設置の方式	屋外据置設置形
給排気方式	強制排気式
暖房方式	開放式
集熱方式	半密閉式
点火方式	連続スパークダイレクト着火
使用水圧	98.1~750kPa (1.0~7.5kgf/cm ²)
最低作動流量・水圧	3.5L/min・4.91kPa (0.05kgf/cm ²)
外形寸法	高さ1690mm×幅720mm×奥行300mm
質量（本体）	90kg（満水時：185kg）
給水・給湯	R3/4 (20A)
ガス	R1/2 (15A)
配管	ふろ（行き・戻り） CCHジョイント
接続口径	暖房（行き・戻り） CCHジョイント
	集熱（行き・戻り） CCHジョイント
オーバーフロー（ドレン排出接続口）	ホッパ（VP13）
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	320W (最大燃焼時) 凍結防止ヒータ: 197W
待機時消費電力	13W (集熱運転時) 2.7W
本体外表	カラー鋼板（一部塗装品）
排気口	ステンレス
熱交換器	銅板・銅管・ステンレス
本体外表色	プライムホワイト（マンセルNo.3.1GY 8.6/1.6）
騒音値（最大時：ALenジ）	49dB以下（給湯+追いだし+暖房：無響音室での測定値）
排気温度	100°C以下
ドレン排水量	最大約100cc/min
安全装置	立消え安全装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、過熱防止装置、不凍液減少検出装置、空だき安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、停電安全装置、過電流防止装置、負圧防止安全装置、沸騰防止装置、停電時高温過熱回避装置、ファン回転検出装置、缶体過圧防止装置、漏電安全装置、誘導雷保護装置、断水検出装置、ポンプ過熱安全装置、中和器詰り検出装置、熱交換器漏水安全装置、逆流防止装置、ポンプ回転検出装置
付属部品	取扱説明書（保証書付き）、工事説明書、熱媒注水SET 熱媒注水SET用支持板、接続線一式
別売部品	TFKR14ABDE2GJSV（インターホン付 台所リモコン） TFBR14ABDE2IJSV（インターホン付 浴室リモコン） 増設リモコンRC-8001A（非防水仕様） 増設リモコンRC-8001B（防水仕様、呼出しスイッチ付） 増設リモコンRC-8001AJ（非防水仕様、自動スイッチ付） 排気トップ、据置架台、壁配管カバー、転倒防止金具 循環アダプター（各種） 他

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■能力表

項目	能力
給湯出力 システム	41.9~0kW (36,000~0kcal/h) (貯湯あり)
給湯出力 補助熱源機	41.9~6.3kW (36,000~5,400kcal/h)
出湯量	24.0L/min
能力制御範囲・方式	24~0号 (貯湯あり)・FF+FB+水比例制御 (水量サーボ)+Q機能
温度調節範囲	32°C, 35°C, 37~48°C (1°C刻み), 50°C, 55°C, 60°C (17段階)
追いだし能力 (出力)	12kW (10,300kcal/h)
最低作動流量	3.5L/min
温度調節範囲	33~48°C (1°C刻み 16段階)
ポンプ機外揚程	流量5L/minの時、90kPa=9.2mH ₂ O
暖房能力 (最大時)	17.4kW (15,000kcal/h)
暖房水設定温度	高温側: 80°C 低温側: 60°C (機器側で55, 65, 70°Cに変更可)
ポンプ機外揚程	高温側: 流量10L/minの時、40kPa=4.1mH ₂ O 低温側: 流量17L/minの時、50kPa=5.1mH ₂ O
最大ガス消費量 (同時使用時)	50.0kW (都市ガス43,000kcal/h)
※最大ガス消費量 (都市ガス) は、ガス種13Aの値です。ガス種により若干異なります。	
給水装置認証登録番号	OW6005

■固定仕様と付属部品諸元

設置場所	アスペクト比	仕様	本数	引張耐力	備考
土層階/屋上	5.63	おねじ形おねじアンカーボルト:M12x50	4	5.8kN/本以上	—
土層階/屋上	6.30	おねじ形おねじアンカーボルト:M12x50	4	5.8kN/本以上	注1

注1: 据置架台SSC2410H200 (H=200mm, 本体質量=8.0kg) を使用する場合は、
※本製品の設置・転倒防止の措置は、国土交通省告示第1447号「建築設備の構造耐力上安全造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改訂する件」に対応しています。

納入仕様図	製品名	TFT-C14DRS-AWC		
	図名	名称寸法図		
	尺度	1/20	原紙サイズ	A3
作成	2014. 8. 4	調整	図番	T2-1313-1

注記 ※メンテナンススペースは必ず確保してください。
※燃焼時にドレン排出接続口からドレンが排出されます。必ず排水配管を設置し、排水口まで配管してください。
※排気延長する場合は、1曲がり3m以内、2曲がり3m以内、3曲がり3m以内で施工してください。

「建築設備耐震設計・施工指針(日本建築センター著) (2005年版)を参考に熱源機(蓄熱槽)設置時の耐震性能を以下の条件で確認する。

計算条件

本書では、耐震クラスはB、地域係数は1.0、設置階は上層階(屋上)とし、据置台(H=200mm)設置時における、アンカーボルトスパンが短い機器幅300mmの側からみた側方転倒について検討する。

表1. 設計用標準震度(耐震クラスB)及び地震地域係数

設置階	設計用標準震度: K_S	地震地域係数: Z
上層階、屋上	1.0	1.0 (地域:東京)
中間階	0.6	
地階及び1階	0.4	

表2. 条件

貯湯ユニット (補助熱源内蔵形 太陽蓄熱槽)	型式: TFT-C14DRS-AWC (SS-GTHC2410AD-1) 質量(満水時): 185kg
据置台	型式: 据置架台SSC2410H200 質量: 6.0kg 高さ: 200mm
設置形態	直置き設置又は据置台設置 (設置は、地階及び1階～ 上層階及び屋上)

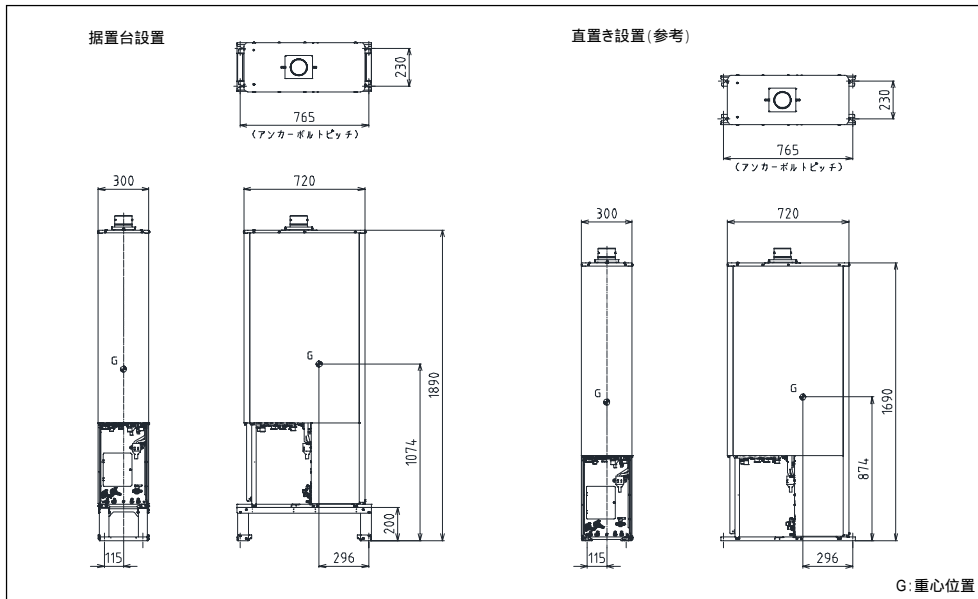


図1. 設置図

表3. 固定と部材仕様

設置場所	質量(kg)			アスベ外比	アンカーボルト			備考	適応告示 (国交省告示第1447号第五)
	給湯器本体	架台等	合計		仕様	本数	引張耐力		
上層階、屋上	185		185	5.63	おねじ形あと施工アンカー M12x50	4	5.8kN/本以上		—
上層階、屋上	185	8.0 (H=200)	193	6.30	おねじ形あと施工アンカー M12x50	4	5.8kN/本以上		四

本書での計算条件

諸量および応力の算定

項目	記号	据置台設置	直置き設置(参考)
機器仕様			
機器の質量(満水時)	m	193 kg	185 kg
機器の重量(満水時)	W	1.89 kN	1.81 kN
アンカーボルトの総本数	n	4本	4本
引張りを受けるアンカーボルト本数	n_t	2本	2本
検討する方向からみたボルトスパン	L	230 mm	230 mm
ボルト中心から機器重心までの距離	L_G	115 mm	115 mm
据付面より機器重心までの高さ	h_G	1074 mm	874 mm
アンカーボルト仕様			
呼び径	d	12	12
アンカーボルトの軸断面積	A	1.13 cm ²	1.13 cm ²
アンカーボルトの許容引抜荷重 ⁽¹⁾	Ta	5.8 kN	5.8 kN
アンカーボルトの検討			
設計用水平震度	K_H	1.0	1.0
設計用水平地震力	F_H	1.89 kN	1.81 kN
設計用鉛直地震力	F_V	0.95 kN	0.91 kN
アンカーボルト1本当たりの引抜き力	R_b	4.18 kN	3.22 kN
ボルトに作用するせん断応力度		0.42 kN/cm ²	0.40 kN/cm ²

$$K_H = K_S \cdot Z$$

$$F_H = K_H \cdot W$$

$$F_V = \frac{1}{2} F_H$$

$$R_b = \frac{F_H \cdot h_G - (W - F_V) \cdot L_G}{L \cdot n_t}$$

$$\tau = \frac{F_H}{n \cdot A}$$

結論

以上の計算結果より、アンカーボルト1本あたりの引抜き力 R_b アンカーボルトの許容引抜荷重 Ta となるため、⁽²⁾ 想定される地震力に対し十分な固定強度を有することが確認された。

1 国土交通省告示第1447号による、おねじ形あと施工アンカーM12×50(呼び径×埋込長さ)を使用。

2 建築設備耐震設計・施工指針 2005年版 2.1(4)「アンカーボルトの選定」より、4.4kN/cm²の為、せん断力は考慮せず引張力についてのみ検討する。